

5. かわまち公共施設 各階のフロアゾーニングイメージ

各階における導入機能の配置（フロアゾーニング）のイメージを以下に示す。

1階の西側は拠点の入口にあたり、インフォメーション機能や簡単な休憩機能を設け、市民や観光客が入りやすい開放的な空間とする。東側は市民・市民団体利用に重点を置くこととし、ニーズを踏まえた部屋・設備を揃える。加えて、建物の北側が北広場に面していることを考慮し、北広場の利活用に関与する工夫を検討する。

本施設のメイン空間となる2階の東側では、市民・観光客双方をターゲットとし、カフェやライブラリーを付随させたオープンで憩える場を提供する。逆に西側にはクローズな部屋を設け、フレキシブルな貸室利用を想定する。

なお、ギャラリーは、情報発信するターゲットや分量・展示期間等を踏まえて、展示内容ごとに効果的な場所に配置する。

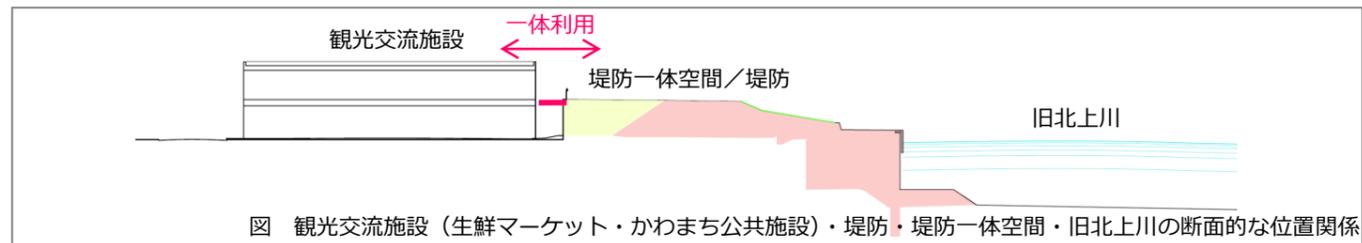
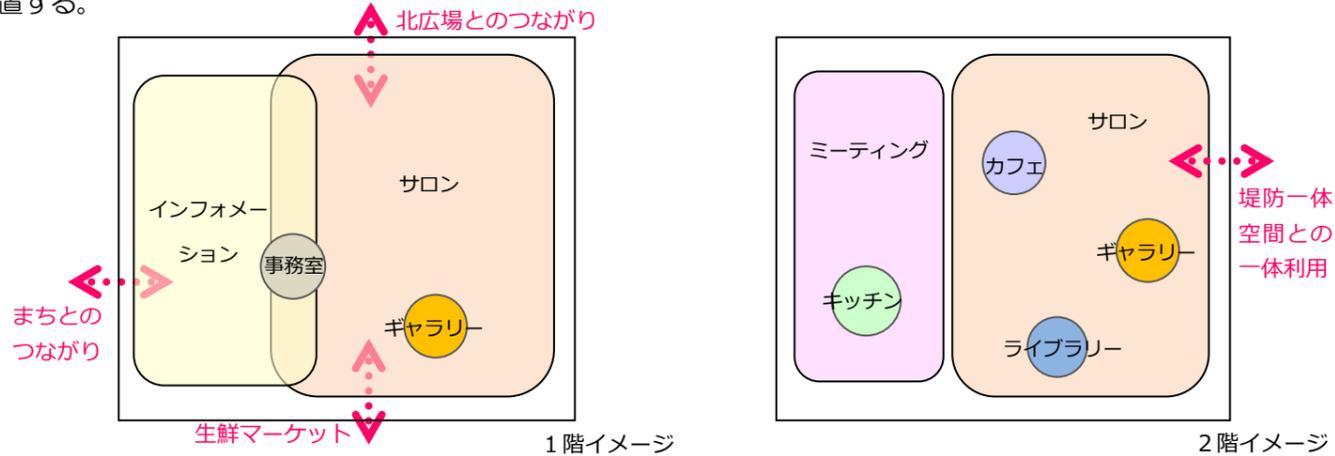


図 観光交流施設（生鮮マーケット・かわまち公共施設）・堤防・堤防一体空間・旧北上川の断面的な位置関係

6. 事業スケジュール

「かわまち交流拠点」における各種の基盤施設と建物施設については、以下のスケジュールで整備予定とする。

項目	平成27年度			平成28年度			平成29年度			H30年度	H31年度	H32年度
	4	7	10	1	4	7	10	1	4			
土地区画整理事業	法定手続き許可			★都市計画審議会 ★都市計画決定(告示) ◎事業計画決定								換地処分◎
	移転補償				移転補償							
	土地整備・道路交通広場・北広場			区画整理設計 事業計画	換地設計・実施設計				整地・換地・工事			
観光交流施設整備	生鮮マーケット【(株)元気いしのまき】				実施設計	工事						
	かわまち公共施設			基本計画	基本設計・実施設計	工事						
	立体駐車場・観光バス駐車場				実施設計	工事						
	堤防一体空間				実施設計	工事						

かわまち交流拠点整備事業 基本計画 概要版(案)

1. かわまち交流拠点の基本方針・コンセプト

- 第2期中心市街地活性化基本計画が目指す「彩り豊かな食」と「歴史が薫る」川辺のまちの実現に向けて、かわまち交流拠点が果たすべき目標（基本方針）を以下の通りとする。
 - i) 中心市街地の復興と市の観光振興を牽引する。（地域活性化、観光）
 - ii) 住民や観光客が来訪し、住民同士あるいは住民と観光客の交流を生む場を目指す。（交流）
 - iii) 単なる商業施設ではなく、ブランド化等支援を通じて地場産業に貢献する。（商業）
- コンセプトを「石巻の豊かな食材・生産者・消費者をつなぎ、ひとの賑わいを創出する」とする。

2. かわまち交流拠点の主な施設配置

凡例	
	施行地区区域界
	都市計画道路
	区域道路
	北広場
	観光交流施設用地
	沿道業務用地
	堤防一体空間

土地利用計画表	
施行地区区域界	約1.54ha
都市計画道路	約2,700㎡
羽黒下広小路線	約1,200㎡
交通広場	約1,500㎡
区画道路	約2,000㎡
北広場	約2,000㎡
観光交流施設用地	約2,800㎡
沿道業務用地	約4,800㎡
地権者用地	約900㎡
駐車場	約3,900㎡
堤防一体空間	約1,000㎡

- 立体駐車場・観光バス駐車場**
- 自走式立体駐車場 約200台収容
 - 立体駐車場の前面に約3台分のバススペースを確保
 - 平成29年度完成予定
 - 市事業 A=約3,900㎡



- 北広場**
- 朝市、川開き等のイベントでの活用
 - 不整形な地形を活かしたづくり
 - 区画整理事業 A=約2,000㎡

- かわまち公共施設**
- 観光案内・休憩スペースを設け、観光客に配慮した地域交流施設とする
 - 誰でも入りやすい交流スペース
 - その他、市民ニーズを満たす空間づくりを検討
 - 平成29年度完成予定
 - 市事業 敷地面積 A=約700㎡

- 生鮮マーケット**
- 地元産の新鮮な野菜・鮮魚などを手軽に購入できる店舗（1階）とフードコートレストラン（2階）
 - 街なか住民と観光客双方のニーズに応える
 - 民間事業者（株）元気いしのまきが整備・運営
 - 平成28年度末完成予定
 - 民間事業 敷地面積 A=約2,100㎡

- 堤防一体空間**
- 河川堤防工事に併せ、背後の建物と水辺をつなぎ、川とまちを一体的に活用できる賑わい空間を整備
 - 生鮮マーケット等の施設機能の拡大
 - 平成30年度完成予定
 - 市事業 L=約85m

- 交通広場**
- 路線バス・高速バスのロータリー
 - 石巻駅と並ぶ交通拠点として新たに位置づけ
 - 平成30年度完成予定
 - 区画整理事業 A=約1,500㎡

0 10 50 100m

3. 動線・交通処理

3-1. 広域主動線

- 三陸自動車道（仙台・登米方面）からの自動車の動線は、大まかに分けて下記3ルートが想定される。
 - (ア) 石巻港ICから石巻南浜津波復興祈念公園を経由し、南からアクセスする、観光客向けルート
 - (イ) 石巻河南ICから中里バイパスを経由し、北からアクセスするルート
 - (ウ) 石巻女川ICから石巻北部バイパスを経由し、より北からアクセスするルート
- 街なかの交通渋滞を抑止するため、案内板設置等の交通誘導施策を講じ、交通量の分散を図る。具体的には、JR石巻駅前の国道398号線を通過する交通量を抑え、上記(ア)(ウ)ルートの利用を促進する。
- なお、魚市場・女川方面からの動線は、新内海橋・鎮守大橋・日和大橋を経由するルートが想定される。
- 一方で、仙石東北ラインを主とした鉄道利用による来訪者も一定数いると想定される。



図 かわまち交流拠点に向かう広域動線

3-2. 拠点内及び歩行者の主動線

- 立体駐車場・観光バス駐車場下車した歩行者は、交通広場脇を通過して観光交流施設・堤防一体空間等にアクセスする。
- 石巻駅からの歩行者については、マンガロード・アイトピア通り・橋通りを主動線としながら、横丁からの動線も重視し、まちとの回遊に配慮する。
- 河川堤防に上がる階段やスロープを適切に配置し、拠点内外をつなぐ歩行者回遊動線を確保する。

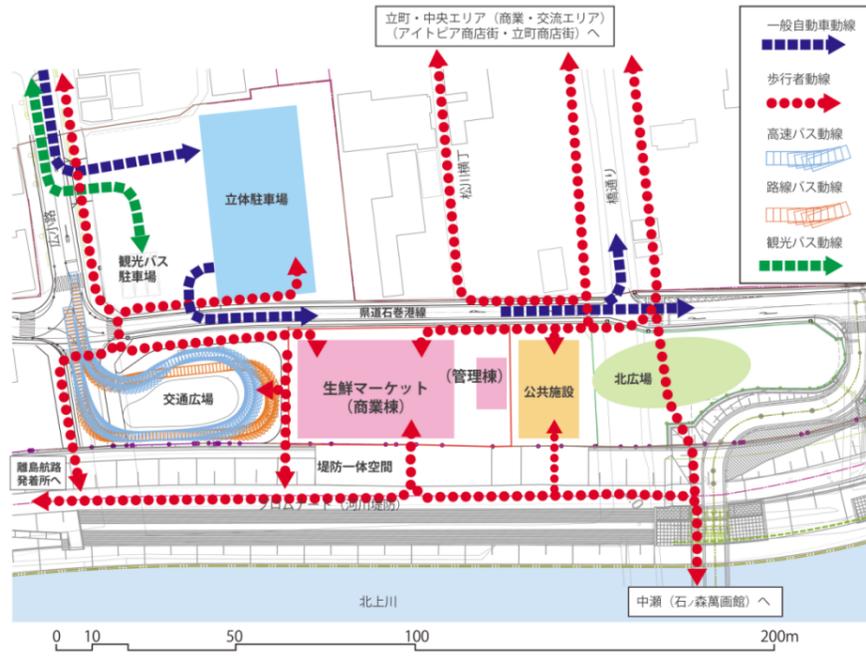


図 かわまち交流拠点付近の動線計画

3-3. サイン計画

- 利用者が各自のニーズに基づき、目的とする施設へ円滑に到達できるよう、適切で体系的な案内表示（サイン）を設ける。

3-4. 景観づくり

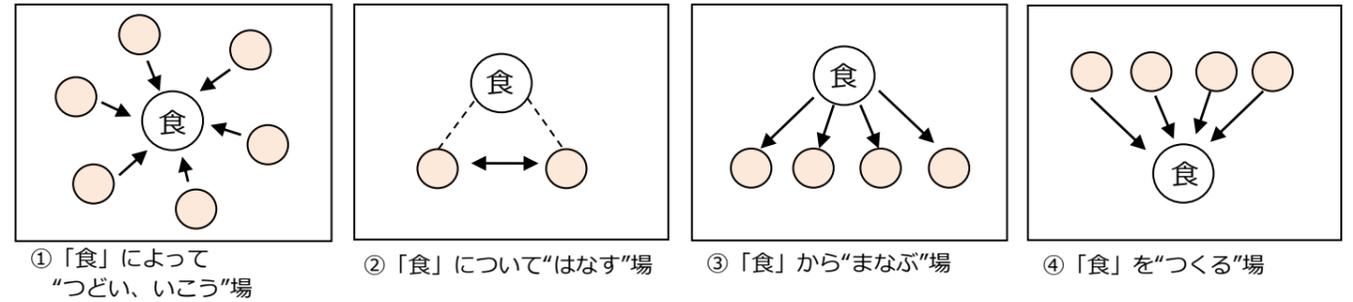
- 拠点のブランド化と集客力の向上を図るため、拠点内の建築・道路・広場を、調和のとれた魅力ある空間デザインを行うよう努める。

4. 観光交流施設（かわまち公共施設）基本計画

4-1. かわまち公共施設（仮称）いしのみまき かわまち交流館

- “食を通じた交流”を生みだすため、隣接する生鮮マーケットや広場、堤防一体空間と連携し、食を通じた交流の拠点とする。
- 具体的には、会議室や活動スペース等の賑わい交流施設を複合化した地域交流施設とし、PR活動、人材の育成、地域活動の支援、情報交換等の機会を提供する。
- 地域住民による賑わい創出に向けた役割と同時に、市全域に係る観光交流・観光情報発信拠点としての機能を重ね、定住人口と交流人口の隔てない交流を主導する。

4-2. 計画概念 “食”を通じた交流”のイメージ



4-3. 導入機能と利活用方法

<交流機能>：スペースとしての機能

①インフォメーションスペース（観光案内） 「食」のまち石巻の魅力を伝えるための空間

- [利活用例]
- 「食」にまつわるパンフレットやポスター掲示だけでなく、石巻市のゲートウェイとして積極的に地域周遊を促す仕組みを構築
 - 近辺の観光名所だけでなく、市内他地区のスポットや観光ルートなど、地域の周遊を促す総合的な観光を提案

②サロンスペース（交流）

- 多様な交流イメージに対応できる多目的な空間（周辺の施設との一体的利用を考慮）。同時に、気軽に立ち寄れる場所として市民の居場所となる役割も持つ。畳や絨毯敷きスペースといった憩いを促進する工夫を一部で検討する。

- [利活用例]
- 食についてのワークショップやミーティング
 - 書籍・文献を利用した食の勉強会
 - 施設内や近隣で購入したフード・ドリンクの飲食と休憩
 - 市民活動を促進する簡単な打ち合わせ・作業スペース
 - 北広場等でのイベント開催時にその補助スペースとして活用

③ミーティングスペース（会議）

- 使用する人数に応じてスペースを区切ることのできる空間。

- [利活用例]
- 食に関するイベント企画やブランド化に関する会議の開催
 - 住民ニーズに応じた貸室利用

<交流促進機能>：<交流機能>をより豊かにする機能

④ギャラリー（展示） 食を通じて石巻の文化や歴史を紹介する空間

- [利活用例]
- 食とともに発展した川湊としての歩み・歴史や、地域活動での成果等、石巻ならではの情報を発信
 - 食と絡めながら新・旧北上川の魅力や復興事業情報を伝承
 - 食に関する市民団体の活動報告を展示

⑤カフェ（喫茶）

- テイクアウトコーナー程度の設備とし、利用者が休憩する際に飲み物等を提供する。

⑥ライブラリー（図書）

- 食文化や歴史、食材、栄養学、レシピ集等、食に関する書籍に特化した図書空間

- [利活用例]
- 石巻、三陸の食文化や歴史等に関する書籍、映像の閲覧
 - 資料を利用しての食に関するワークショップや勉強会の開催

⑦キッチン（台所）

- 「食」に関するイベントに活用できるキッチン空間

- [利活用例]
- 地元事業者や生鮮マーケットと連携した料理教室
 - 伝統料理を子供に教える食育イベントを通じての多世代交流
 - パーティー用途等の市民の貸室利用
 - 地元食材を活用したブランド化のための試作

⑧事務室、トイレ、倉庫

- 上記機能の他、運営を円滑にするため、事務所、トイレ、倉庫を設ける。